

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	三条市ものづくり拠点施設	所在地	三条市桜木町12-38
設置目的	ものづくりに携わる者の新たな連携及び交流の場を提供し、新商品等の開発の促進及び次代のものづくりを担う人材育成の支援を行うとともに、ものづくり活動を通じた地域交流の促進を目的として、三条市ものづくり拠点施設を設置する。		
規模	鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造	設置年月日	平成27年4月1日

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株)ものづくり学校	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			
指定管理業務の内容	三条市ものづくり拠点施設条例第4条に基づく事業運営及び施設管理運営等	指定管理料(千円)	R2 R3 R4	26,862千円 27,115千円 30,366千円	R5 R6	30,762千円 29,617千円
導入効果	①収支の状況 R5年度決算において直営想定よりも3,477千円の支出を削減している。夜間等の管理運営についてはシルバー人材センターを活用し、経費の縮減に努めている。 ②施設の利用状況 利用者数が最も多かったのはH30年度の30,631人だが、R2年度は感染症にかかる閉館や感染症対策によって21,886人まで減少した。R5年度では25,084人とR2年度と比較して約14.6%増加しており、H30年度には届かないものの感染症禍以前の水準に戻りつつある。 ③サービス向上への取組み 入居者に対して定期的にミーティングを実施し、意見をくみ上げつつ業務を進めている。					

3 総合評価(総括)

管理運営状況評価		最高配点	55 点中	38 点	配点評価	B
評価	貸館利用者数はR2年度21,886人からR5年度25,084人と約14.6%増加しており、貸事務所の入居についても90%程度を維持している。また、「工場蚤の市」「KIDSWORKSHOP」といった自主事業は毎年好評を博しており、工場蚤の市2023の来場者数は3,800名を記録した。その他にも通年で様々なワークショップを開催しており、市民の方がものづくりに興味を持つきっかけ作りの場として機能している。また、「燕三条工場の祭典」ではInstagramを活用して実際に近隣の事業者を訪問し紹介するなど、ホームページやSNSを活用した情報発信も積極的に行っている。他方で、事業者の製品開発等に関する取組は明示的な成果を示すことができていなかったため、これらの取組を更に推し進めるよう努めてもらいたい。					
今後の方針	管理運営方法の見直し					
	今後の管理形態		指定管理者制度			
	理由		①経費の縮減 R5年度決算において直営想定よりも3,477千円の支出を削減している。 ②事業の実施内容 自主事業については魅力的なイベントやワークショップを打ち出しており、市内外を問わず参加者の好評を博している。管理業務についても入居者に対して定期的なミーティングを実施し意見をくみ上げつつ業務を進めていることから、指定管理制度の導入効果が表れている。 上記①及び②の理由から、指定管理者制度を継続することで、安定した管理運営、サービスへの柔軟な対応が図られると判断される。			
	指定管理者制度を更新する場合					
	選定方法		非公募			
	非公募の場合、その理由		当施設は、「ものづくりに携わる者の新たな連携及び交流の場を提供し、新商品等の開発の促進及び次代のものづくりを担う人材育成の支援を行うとともに、ものづくり活動を通じた地域交流の促進」を目的として設置されており、これらを達成するためには「株式会社ものづくり学校」の独自のネットワークや企画力が他に代えがたいものであり、また、配点評価がB以上であることから、引き続き非公募で同社に管理運営を行わせることが適当である。			